

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	立石 眞	電 話	483-1151 内線3560
-----	-------	-----	-----	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3799		事務事業名称	園芸振興事業					短縮コード	経常	3799	臨時	3800
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	園芸農産業費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市基幹農作物生産体制安定化事業補助金交付要綱、八千代市経営構造対策事業補助金交付要綱、八千代市園芸農業振興活性化推進事業補助金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
園芸農産物等の産地体制を確立するため、市内で農業を営む者が組織する団体が園芸農産物等の産地体制を整備強化する事業を行う。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして						
消費者から、安全・安心、高品質な園芸農産物を求める傾向が高まっている。					大項目（節）	01	農業						
					中 項 目	01	農業						
					小項目（施策）	02	農業経営体の育成						
						03	高付加価値型農業の実現						
					細 項 目	01	営農・経営支援体制の強化						
						03	園芸施設化の促進と果樹振興						
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	農家(野菜・果樹・施設園芸) 基幹農作物生産体制安定化事業補助金（農事組合法人島田）、経営構造対策事業補助金（農事組合法人島田）、園芸農業振興活性化推進事業補助金（八千代市園芸協会）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 基幹農作物生産体制安定化事業により、機械施設の整備を行い、集落を基礎とした担い手集団の育成と米・大豆の生産体制の確立を図る事業に対して補助を行った。経営構造対策事業により、生産施設等の整備を行い、効率的かつ安定的な農業経営が地域農業の相当部分を担う望ましい農業構想の確立を図る事業に対して補助を行った。園芸農業振興活性化推進事業により、共進会を実施し、園芸農作物の生産技術の向上を図り、それを消費者にアピールすることによって生産者の利益の向上と消費者の農業理解を深め、市内園芸農業の発展を図る事業に対して補助を行った。							
	※平成20年度に計画していること： オリジナルブランド産地づくり支援事業により、こだわり農産物や特色ある商品の生産・提供、販路の拡大など、産地づくりのために必要な共同利用機械の整備に補助を行う。全国ナシ研究大会支援事業により、第57回全国ナシ研究大会における八千代市園地視察をさせることにより、八千代市梨産業の一層の発展を図ることを目的として補助を行う。園芸農業振興活性化推進事業により、共進会を実施し、園芸農作物の生産技術の向上を図り、それを消費者にアピールすることによって生産者の利益の向上と消費者の農業理解を深め、市内園芸農業の発展を図る事業に対して補助を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	安全・安心、高品質な園芸農産物を安定供給する産地体制の確立							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	農家	戸	941	941	941	0	
	指標2	農家	戸	0	941	941	0	
	指標3	農家	戸	941	941	941	941	
活動指標	指標1	導入機械台数	台	8	2	2	0	
	指標2	施設導入個数	個	0	2	2	0	
	指標3	活動団体	団体	1	1	1	1	
成果指標	指標1	農事組合法人島田構成員数	戸	14	14	14	0	
	指標2	農事組合法人島田構成員数	戸	0	14	14	0	
	指標3	八千代市園芸協会加入農家戸数	戸	297	284	284	284	
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3799	事務事業名称	園芸振興事業				所属名	農政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			園芸農業振興のために、必要なものを時節に応じ、適宜見直し実施する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状の経費で成果はでている。 経費を削減すれば成果が低下する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
農業をとりまく状況や要求がますます厳しくなっていることから、本市園芸農業が継続出来るよう新たな取組に対して、市の支援を要望している。									

所属長コメント	・農業を取り巻く環境はますます厳しくなるなかで、園芸農業が継続できるように必要な事業を展開し、農業経営の安定的な確立をめざす。 ・妥当な評価である。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									